様式第二号の八（第八条の四の五関係）　　（第1面）

収受
令和 -7.8.25
吹田市
環境保全指導課

産業廃棄物処理計画書

令和7年8月22日

吹田市長　　様

提出者

住所　大阪府吹田市南金田1-8-5

氏名　橋本建設株式会社

代表取締役　橋本　治

電話番号　06-6384-2123

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	橋本建設株式会社　吹田市管轄内事業場
事業場の所在地	吹田市管轄区域内
計画期間	2025年4月1日～2026年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	**別紙１，２のとおり**
①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項　　**別紙１，２のとおり**

（管理体制図）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項　　**別紙１，２のとおり**

①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の分別に関する事項　　**別紙１，２のとおり**

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項　　**別紙１，２のとおり**

①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項　　**別紙１，２のとおり**

①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項　**別紙１，２のとおり** ✓

①現状

【前年度（　　年度）実績】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項　**別紙１，２のとおり** ✓

①現状

【前年度（　　年度）実績】

産業廃棄物の種類		
全処理委託量	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

	②計画	【目標】	別紙１，２のとおり ✓	
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄				

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高
（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるよ　うな前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別紙1（廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書）
現状：前年度（2024年度）実績量
計画：今年度（2025年度）計画量

単位:トン／年

産業廃棄物の種類		排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
コード	名 称	排出量（前年度実績値の①）		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量（前年度実績値の②+⑧）		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量（前年度実績値の⑤）		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量（前年度実績値の⑦）		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量（前年度実績値の③+⑨）		全処理委託量（前年度実績値の⑩）		優良認定処理業者への処理委託量（前年度実績値の⑪）		再生利用業者への処理委託量（前年度実績値の⑫）		認定熱回収業者への処理委託量（前年度実績値の⑬）		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量（前年度実績値の⑭）	
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
100	燃え殻																				
200	汚泥																				
300	廃油																				
400	廃酸																				
500	廃アルカリ																				
600	廃プラスチック	0.600	0.000									0.600	0.000			0.600	0.000				
700	紙くず																				
800	木くず	11.700	0.000									11.700	0.000			11.700	0.000				
900	繊維くず																				
1000	動植物性残渣																				
1100	ゴムくず																				
1200	金属くず																				
1300	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず																				
1400	鉱さい																				
1500	がれき類	159.120	0.000									159.120	0.000			149.900	0.000				
1501	コンクリート破片	227.700	1.000									227.700	1.000			227.700	1.000				
1502	アスコン破片	1206.870	0.000									1206.870	0.000			1206.870	0.000				
1600	動物の糞尿																				
1700	動物の死体																				
1800	ばいじん																				
2010	建設混合廃棄物（安定型）	19.200	0.000									19.200	0.000	12.000	0.000	19.200	0.000				
2440	石綿含有産業がれき類	5.000	0.000									5.000	0.000	1.000	0.000						
合計		1630.190	1.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1630.190	1.000	13.000	0.000	1615.970	1.000	0.000	0.000	0.000	0.000

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り，空欄へ産業廃棄物のコード及び具体的な名称を記入してください。
※数量に関しては、小数点以下3桁表示として記入してください。

別紙２（廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書）

1　当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	06：総合工事業
②事業の規模	208,470,000　円
③従業員数	8　名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・土木工事、舗装工事、建築工事 がれき類（コンクリート破片、アスコン破片）→中間処理業者へ委託し、再生砕石として再資源化 廃プラスチック類→中間処理業者へ委託し、塩ビ他原料として再資源化 木くず→中間処理業者へ委託し、破砕し再資源化（燃料チップ） 建設混合廃棄物→中間処理業者へ委託し、選別・破砕再資源化または埋没処分 石綿含有産業がれき類→中間処理業者に委託し、選別後最終処分業者にて埋立処分

2　産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項（管理体制図等、別紙を参照）

別紙３のとおり。

3　産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） 特になし
②計画	（今後実施する予定の取組） 使用する材料を工夫し、排出量を削減。

4　産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 特になし
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 分別による排出量の削減

5　自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） 特になし
②計画	（今後実施する予定の取組） 特になし

6　自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） 特になし
②計画	（今後実施する予定の取組） 特になし

7　自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

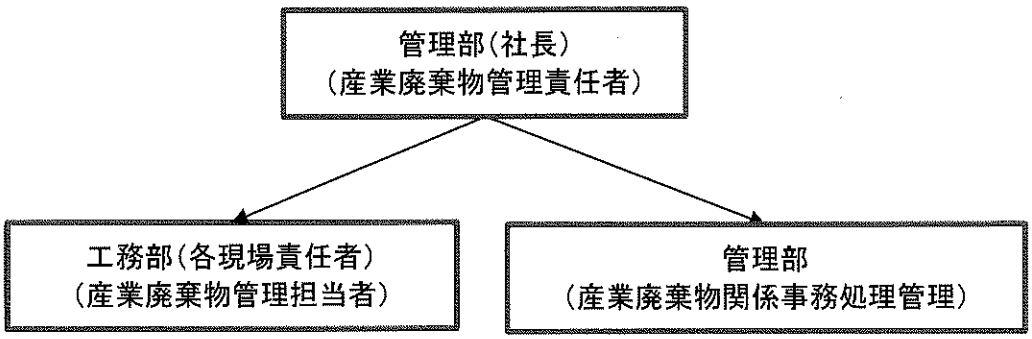
①現状	（これまでに実施した取組） 特になし
②計画	（今後実施する予定の取組） 特になし

8　産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） 廃棄物処分委託に際して適正に処理できる業者を選定。 廃棄物の処理委託契約を書面にて実施している。
②計画	（今後実施する予定の取組） 再生利用及び熱回収が可能な廃棄物に関しては、対応できる業者を優先して選定する。

別紙3

管理体制図


管理部(社長)
(産業廃棄物管理責任者)
工務部(各現場責任者)
(産業廃棄物管理担当者)
管理部
(産業廃棄物関係事務処理管理)